



神奈川スバル株式会社



RA SURTEES

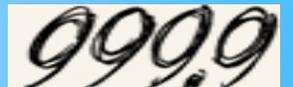


# AUTOBACS SUPER GT Round6 オートポリス RACE





神奈川スバル株式会社



## <公式練習 / 位>

昨年コロナの影響で開催されなかったオートポリス。菅生と同じく2年ぶりの開催となりました。事前にテストがありましたが、残念ながら雨の走行で、ドライは走れておりません。なので、新車のこのマシンでは、初めての走行となります。まず公式練習は、2種類のタイヤ硬い方からスタートします。バランスは、路面のグリップも悪く、マシンの硬さを感じるのので、バネレートを大きくソフト側に変更。これでタイヤと路面とのバランスが近づき、グリップ感も向上させることが出来ました。次にソフト側のタイヤを確認。やはりタイムは、ソフト側の方が速く、予選もソフトを使用したいが、耐久性に問題がありました。ただ路面や気温が上がってこれば、何とか決勝ミニマムは保つのでは？という程の耐久性でした。その後井口選手と交代し、井口選手でロングを確認してもらい、セッション終了となりました。





神奈川スバル株式会社



## <公式予選 / 2位>

今回もQ1を担当してくれるのは、井口選手です。彼は地元ということもあり、とても気合いを感じる予選でした。予選は、練習でバネを柔らかくした半分程硬い方に戻し、路面のラバーが乗って、路面が向上していくことを読んで、少し硬くしていきました。マシンのバランスも練習より良かったとのことで、ただまだフロントのグリップが低いとのことなので、フロントの車高はこれ以上下げられないので、リアの車高を上げていきます。アタック自体にミスも無く、しっかり攻めきることができ、何とサクセスウェイトを100キロ積んでいる状態の中で、予選2番手を獲得。僕たちも驚きを隠せない結果となりました。明日のタイヤに不安が残りますが、ラバーが乗ってくるところを願って、決勝用のセット変更をして、明日に挑みたいと思います。





Planex  
CARS.



Planex  
COMM.

神奈川スバル株式会社



## <決勝 / 3位>

今回決勝のスタートを担当するのは、自分(山内英輝)です。今回は自分がスタートを担当します。トップのプリウスを抜いてくるのが自分の仕事です。

1周目は、何度か並びかけて仕掛けにいりますが、前に出るまではいけませんでした。そこからはトップを追いかけ付いていくことで精一杯。少し相手の方がペースが良く、序盤はコンマ3秒程毎周速く離れていきますが、7周目辺りから相手のペースより、自分達の方が少し速く追いついていく展開となります。ですが、GT300クラスのクラッシュ車両があり、その回収にSCが入ります。数周後に一度解除になりますが、また数周後に別の箇所でもクラッシュ車両が発生しSCが入ります。序盤で2度入るなど、荒れた展開が続きます。2度目のSCも数周後に解除になり、決勝レースが再スタートしていきます。タイヤが冷えてしまうと、ピックアップが剥がれず、少し苦戦をしましたが、何とかポジションをキープ。前を走るプリウスは、SCでタイヤが回復したのか、異常に速いペースで走られ、毎周コンマ5秒程速いペースで引き離されていきます。20周辺りでチームからSCが怖いから、ミニマムでピットに入り、タイヤを硬い方のMで行くと、無線が入ります。





神奈川パール株式会社



ただ自分的には、このソフトタイヤで後半行った方が良くと判断し、チームを説得させて出来るだけ引っ張りたいとチームに依頼。結果リスク承知で半分まで引っぱり、30周目に500クラスもトップ集団が来る周回で、ロスが増えるので、30周目にピットに入ります。ピットのミスも無く、完璧に井口選手を送り出します。トップでコース場に出ることが出来ましたが、アウトラップに2台抜かれ3位まで落ちます。そこからタイヤに熱が入り、2位に追いつき仕掛けにいけますが、前に出ることができず、逆に自分のペースで走ることが出来ないため、ピックアップが大きくタイヤに付き、どんどんペースが落ちていきます。3番手を走るスープラに追いつかれ、最終的に20周近く3位争いのバトルになりましたが、何とか井口選手の粘りで3番手を死守しチェッカーを受けることが出来ました。僕たちに取ってこの3位は驚きで大きな収穫となりました。シリーズランキングもトップを死守することが出来ました。残り2戦の茂木、富士としっかり集中して戦っていきたいと思います。

